



平成24年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月29日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 アインファーマシーズ
 コード番号 9627 URL <http://www.ainj.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年3月16日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大谷 喜一
 (氏名) 加藤 博美

TEL 011-783-0189

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第3四半期の連結業績(平成23年5月1日～平成24年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第3四半期	105,389	10.7	7,370	29.4	7,584	31.6	3,674	25.8
23年4月期第3四半期	95,179	4.6	5,695	24.9	5,762	29.4	2,919	30.1

(注) 包括利益 24年4月期第3四半期 3,600百万円 (24.7%) 23年4月期第3四半期 2,886百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第3四半期	230.48	—
23年4月期第3四半期	193.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年4月期第3四半期	84,440	32,398	38.3	2,030.00
23年4月期	76,940	29,498	38.3	1,847.46

(参考) 自己資本 24年4月期第3四半期 32,359百万円 23年4月期 29,450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	0.00	—	45.00	45.00
24年4月期	—	0.00	—	—	—
24年4月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,000	10.5	9,670	19.3	9,500	15.7	4,850	23.8	304.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年4月期3Q	15,944,106 株	23年4月期	15,944,106 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年4月期3Q	3,316 株	23年4月期	3,102 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年4月期3Q	15,940,912 株	23年4月期3Q	15,113,321 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年5月1日～平成24年1月31日)におけるわが国の経済は、東日本大震災及び原子力災害の影響のほか、欧州の政府債務危機等に伴う金融システムへの懸念等、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店及びM&Aの活用により、出店数ならびに事業エリアを拡大するとともに、物販事業では、都市型ドラッグストアの出店及びプロモーション活動を強化し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高が1,053億8千9百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益は73億7千万円(同29.4%増)、経常利益は75億8千4百万円(同31.6%増)となり、四半期純利益は36億7千4百万円(同25.8%増)となり、いずれも順調に推移いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(医薬事業)

調剤薬局既存店については、堅調な来局患者数推移及び処方日数の長期化に伴う処方箋単価の上昇により、売上、利益とも前年を上回る水準で推移しております。

また、子会社を含めグループ全体で新規出店及びM&Aを強力に推進しており、全国各地に営業基盤を構築しております。

平成24年度調剤報酬改定においては、薬価の引き下げ及びジェネリック医薬品の更なる普及推進策が含まれており、改定以後、調剤薬局事業は全般的に減収となる見通しであります。

当社グループとしては、事業規模の拡大による営業基盤の強化、調剤業務のオートメーション化及び標準化による労働生産性の向上、ジェネリック医薬品専門卸である子会社(株)ホールセールスターズを中心とした同医薬品のグループ流通体制等により、隔年実施の調剤報酬改定に継続性をもって対応しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、938億2千3百万円(前年同期比11.9%増)、セグメント利益88億1百万円(同22.2%増)と増収増益を確保いたしました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計35店舗の出店を実施し、8店舗を閉店した結果、当社グループにおける薬局総数は475店舗となりました。

(物販事業)

物販事業は、今夏、冷却関連商品をはじめとする節電対応商品の需要増等、一部商材に改善が見られましたものの、全体的な消費マインドは、依然として停滞から脱しておらず、大変厳しい環境にあります。

このような環境において、都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」では、コスメティック商品、医薬品のMD強化を軸とした収益改善に取り組むとともに、札幌市内における出店強化及び新聞・CM媒体等によるプロモーションの集中投下により、同地区における販売力の活性化に努めてまいりました。

同時に、営業不振店舗については、閉店またはリロケーションを実施することにより、粗利益及びコスト構造を改善し、セグメント利益ベースで黒字転換いたしました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、新規出店の売上貢献により113億7千8百万円(前年同期比1.9%増)と前年微増となりましたが、セグメント利益は1億5千3百万円(前年同期は1億2千2百万円の損失)と大きく改善いたしました。

同期間の出店状況は、アインズ&トルペ クレフィ三宮店(神戸市中央区)、宮の沢駅店(札幌市西区)、アリオ札幌店(同東区)及び札幌パセオ店(同北区)を新規またはリロケーションにより出店し、ドラッグストア店舗総数は54店舗となりました。

(その他の事業)

その他の事業における売上高は1億8千7百万円、セグメント損失は8千万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より75億円増の844億4千万円となりました。

主な要因は、現金及び預金、M&Aを含む新規出店による、商品、有形固定資産全般及びのれんの増加によるものであります。

負債の残高は、46億円増の520億4千1百万円となりました。主な要因は、買掛金及び預り金の増加によるものであります。

有利子負債の残高は、1億6千万円減少となる130億5千4百万円となりました。

純資産の残高は、28億9千9百万円増の323億9千8百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末と変わらず38.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の新店及び既存店の業績動向ならびに今後の出店計画を勘案した結果、現時点においては、平成23年5月30日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,437,879	17,144,858
受取手形及び売掛金	10,247,872	10,482,329
商品	8,268,413	9,575,462
貯蔵品	107,455	108,449
繰延税金資産	928,606	936,423
短期貸付金	235,400	948,077
未収入金	2,036,824	2,586,452
その他	898,265	753,348
貸倒引当金	△127,879	△131,278
流動資産合計	38,032,838	42,404,123
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,456,550	6,855,080
土地	5,420,785	5,626,970
その他(純額)	1,574,042	2,233,041
有形固定資産合計	13,451,378	14,715,093
無形固定資産		
のれん	13,867,280	15,719,492
その他	960,649	950,887
無形固定資産合計	14,827,929	16,670,379
投資その他の資産		
投資有価証券	2,959,577	2,925,221
繰延税金資産	1,233,263	1,080,362
敷金及び保証金	4,990,283	5,442,874
その他	1,638,972	1,436,857
貸倒引当金	△229,808	△258,708
投資その他の資産合計	10,592,288	10,626,608
固定資産合計	38,871,596	42,012,081
繰延資産		
株式交付費	35,750	23,986
繰延資産合計	35,750	23,986
資産合計	76,940,185	84,440,190

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,706,886	24,425,118
短期借入金	5,883,188	6,339,685
未払法人税等	2,421,980	1,309,328
預り金	6,722,371	7,838,812
賞与引当金	948,021	482,785
役員賞与引当金	9,375	6,258
ポイント引当金	313,371	303,636
災害損失引当金	11,000	4,586
その他	1,600,266	1,812,438
流動負債合計	37,616,460	42,522,650
固定負債		
社債	184,000	115,000
長期借入金	7,147,773	6,553,604
退職給付引当金	1,270,319	1,427,521
その他	1,222,684	1,422,879
固定負債合計	9,824,778	9,519,005
負債合計	47,441,238	52,041,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,682,976	8,682,976
資本剰余金	7,872,970	7,872,970
利益剰余金	13,227,209	16,201,082
自己株式	△4,918	△5,627
株主資本合計	29,778,237	32,751,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△327,875	△391,667
その他の包括利益累計額合計	△327,875	△391,667
少数株主持分	48,584	38,799
純資産合計	29,498,946	32,398,534
負債純資産合計	76,940,185	84,440,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)
売上高	95,179,423	105,389,479
売上原価	80,777,537	88,653,800
売上総利益	14,401,885	16,735,678
販売費及び一般管理費	8,706,329	9,365,321
営業利益	5,695,556	7,370,357
営業外収益		
受取利息	37,468	44,989
受取配当金	27,485	30,844
受取手数料	36,332	39,453
不動産賃貸料	66,834	83,680
業務受託料	76,842	73,989
その他	162,743	273,124
営業外収益合計	407,707	546,083
営業外費用		
支払利息	169,354	136,728
債権売却損	50,346	52,747
不動産賃貸費用	39,066	26,947
貸倒引当金繰入額	—	30,000
その他	82,482	85,026
営業外費用合計	341,248	331,450
経常利益	5,762,015	7,584,990
特別利益		
投資有価証券売却益	—	13,002
固定資産売却益	979	2,236
子会社株式売却益	—	22,795
事業譲渡益	19,047	—
貸倒引当金戻入額	3,600	—
国庫補助金	38,696	—
保険解約返戻金	—	18,302
その他	4,663	2,195
特別利益合計	66,986	58,532
特別損失		
固定資産除売却損	57,715	64,640
投資有価証券売却損	—	11,773
投資有価証券評価損	—	91,646
減損損失	—	113,323
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	160,596	—
その他	22,814	155,578
特別損失合計	241,125	436,963
税金等調整前四半期純利益	5,587,876	7,206,559
法人税等	2,660,525	3,542,293
少数株主損益調整前四半期純利益	2,927,350	3,664,265
少数株主利益又は少数株主損失(△)	7,795	△9,784
四半期純利益	2,919,555	3,674,049

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,927,350	3,664,265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,640	△63,791
その他の包括利益合計	△40,640	△63,791
四半期包括利益	2,886,710	3,600,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,878,914	3,610,257
少数株主に係る四半期包括利益	7,795	△9,784

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年5月1日 至平成23年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	83,850,541	11,162,876	166,005	95,179,423	—	95,179,423
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	28,482	9,920	38,403	△38,403	—
計	83,850,541	11,191,358	175,925	95,217,826	△38,403	95,179,423
セグメント利益又は損失（△）	7,202,168	△122,844	△57,166	7,022,156	△1,260,141	5,762,015

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,260,141千円には、全社費用が999,195千円、報告セグメントに配賦不能の損益（△は益）が168,023千円、セグメント間取引消去が92,922千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社6社を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、第3四半期連結累計期間においては2,447,964千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年5月1日 至平成24年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	93,823,256	11,378,893	187,329	105,389,479	—	105,389,479
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	9,920	9,920	△9,920	—
計	93,823,256	11,378,893	197,249	105,399,400	△9,920	105,389,479
セグメント利益又は損失（△）	8,801,649	153,563	△80,850	8,874,362	△1,289,372	7,584,990

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,289,372千円には、全社費用が1,149,933千円、報告セグメントに配賦不能の損益（△は益）が90,680千円、セグメント間取引消去が48,758千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社6社を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、第3四半期連結累計期間においては1,829,352千円であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。